

# 防災ニュースNO.14

野路自主防災組織事務局  
平成22年7月1日  
発行責任者 福井太加雄



編★そのときどうする！

## 大地震から身を守るための10カ条

### 1、まずわが身の安全を守る。

地震が起きたら、まず身の安全を第一に確保しましょう。

### 3、避難口を確保する。

ドア・窓を開けて脱出口を確保。  
集合住宅などはドアが開かなくなることがありますが、窓は比較的開きやすくなっています。

### 5、外へ出るときはあわてずに。

瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いて行動しましょう。

### 7、山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する。

山間部や海岸地帯で地震を感じたら、早めに避難体制を整えましょう。

### 9、みんなで協力しあって応急救護を。

お年寄りや身体の不自由な人、ケガ人、日本語の理解が困難な外国人などが孤立しないよう、声を掛け合って助け合いましょう。

### 2、すばやく火の始末。あわてず騒がず、冷静に。

調理器具や暖房器具など火の元を確認し、確実に消しましょう。

### 4、火が出たらまず消火を。

初期消火が大切です。「火事だ！」と叫び、隣近所にも協力を求めましょう。

### 6、狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない。

ブロック塀や門柱、自動販売機など、倒れやすいものに注意が必要です。

### 8、避難は徒歩で。荷物は最小限に。

避難場所へは徒歩で。車やオートバイは使わないようにしましょう。

### 10、正しい情報をつかみ、的確な行動を。


テレビやラジオ、県市町の広報に注意し、正しい情報に従って行動しましょう。





# 《高齢者の交通事故死者13人》 (6月1日現在)

## 自転車乗用車が最多! 死者5人

→心当たりありませんか? 

- ◆ 直線道路で、前後の安全確認を十分せずに道路を横切る
- ◆ 安全確認を十分せずに交差点に入る



# どこでも何度でも 安全確認を!



## 滋賀県交通対策協議会



問い合わせ

滋賀県交通安全対策室 (交通政策課内)

TEL. 077 (528) 3682

滋賀県交通政策課

検索

## 歩行中 死者2人

**道路横断中** の事故が多く、その主な要因として

- 相手が譲ってくれる、停止してくれると思った
- 安全確認が不十分、または怠った

ことが考えられます。



車は急に  止まらない



### あきまへん!

### 自分勝手な

### ルール無視!



### 心当たりありませんか?

## 自動車運転中 死者2人

◆事故の原因は、信号無視や一時不停止など、基本的なルール無視が多く見られます。

きちんとしめよう



体調の悪いときは運転を控えましょう。  
運転に不安を感じたら、免許証の返納を考えましょう。

乗ったらカチッと シートベルト!

→同乗者も カチッとせな

あきまへんで!



高齢者を見かけたら思いやり運転につとめましょう。

- ◆ 近くに横断歩道があるのに横断歩道でない所を横断する
- ◆ 走行車両の直前直後を横断する
- ◆ 道路を斜めに横断する



## “貼ってます 孫からもらった 反射材”